

由仁町【馬来内・熊本貯水池】 ため池 ハザードマップ

— 地震によるため池氾濫時の防災地図 —

平成28年2月作成

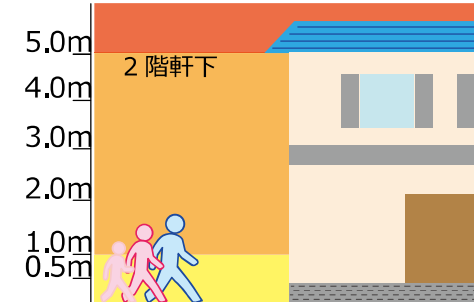
自分の身は自分で守る!! そのために!

- ⚠ 洪水区域は、 **さらに広い!**
- ⚠ 状況に応じて、 **最も安全な避難ルート**を!
- ⚠ 避難は、 **歩いて行動!** ★『緊急輸送道路』は、緊急車両用に確保する。
- ⚠ 避難の際は、 **無理に動かない。外は危険!**
- ⚠ 大地震がきたら、**すぐに高台へ! 建物の2階へ!**

記号凡例

- 緊急避難場所
- 避難所 (町設定避難所)
- 避難方向
- 1分 洪水到達時間
- 浸水想定区域 (点線は隣接エリア)
- 2m 最大水深
- 緊急輸送道路 (災害時に通行を確保すべき道路)
- 危険箇所

水深凡例



馬来内貯水池

最終改修: 昭和55年
総貯水量: 29.9千m³
堤高: 9.60m
堤長: 220m

熊本貯水池

最終改修: 昭和56年
総貯水量: 154千m³
堤高: 9.60m
堤長: 300m

歩行時間の目安



ため池ハザードマップ

万が一、ため池が決壊したときを想定して、迅速かつ安全に避難する情報を示した図です。

緊急避難場所

大きい地震がきたとき、身の安全を確保するため、とっさに避難するところです。

避難所

町が設定した避難者を収容する施設です。ここで家族や友人と合流します。

浸水想定区域^{※1}

ため池が決壊したとき、水が浸かることが想定される範囲を示しました。実際とは異なります。

洪水到達時間^{※2}

ため池が決壊して、洪水が来るまでに想定される時間です。実際とは異なります。

最大水深^{※3}

ため池が決壊したとき、押し寄せる水が最大でどのくらいかを想定したものです。実際とは異なります。

※1 浸水予想範囲: 「ため池簡易氾濫解析」(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所)の最大範囲に、地域住民のご意見(過去の経験等)を反映した。

※2 洪水到達時間: 上流域は、不定流解析による計算値。下流域は、ため池簡易氾濫解析と不定流解析からの推定値。

※3 最大水深: 堤体の全決壊を想定した水深で、不定流解析により算出した。

我が家の避難先・連絡先

日ごろから家族の集合場所などを決めておきましょう

ため池に、異常があったら!

由仁土地改良区(施設)

0123-83-2336

南空知消防組合由仁支署(救助)

119 番または **0123-83-2388**